



平成31年に人口の社会減ゼロ？

村形 昌一 議員

検証しながら達成したい
町長



人口減少をくい止めるには？

空き家バンク

一年やって実績と課題は、町長 町のホームページに掲載した4件のうち1件は成立し、2件交渉中。マッチングの成果は表れた。今後、登録件数を増やしていきたい。

登録の状況は、
町長 ある程度使用できる状態にある住宅に登録勧奨を行ったが、2件しか登録できなかった。所有者の住所は町内17名、町外50名で町外の方の登録を促す工夫をしたい。

定住対策

近隣市町と同程度の補助金が必要ではないか。町長 町の人口減少、特に転出を抑制する政策として「新築住宅への支援制度」を平成29年度より実施したい。

町の考えは、
町長 町民が安心して住み続けられるために、子育て支援・就労支援・除雪支援など、町全般にわたる分野を効率的に運用して、実のある定住対策を実施したいと考えている。

人口の社会減

状況はどうなっている。

町長 この10年間で転入者1456人に対し、転出者は2295人で838人の減少。7割が県内転出だった。

転出の分析は、
町長 この5年間で転出者上位は東根市211、山形市127、村山市108、尾花沢市102、天童市67であった。転出

駅前土地の有効活用は、町長 今年一年かけて検討していく。

世帯は105で県内転出は8割をしめる。改善をどう図るのか。町長 アンケートで転出の理由は「雪」が85%の回答だった。

「克雪対策」を第一に、子育て支援や経済対策を実施していく。そば・スイカや自然薯などで農業所得を増やすことが定住につながることを考える。

町長 農業関係者と話しあいながらやっていきたい。販売は先頭に立ってやっていく。



好評な自然薯販売(そばまつり)

小型ロータリーで間口除雪

町長 「全町に流雪溝の整備を」を目標に、取水先の水量、流末の確保ができれば整備していく。現在検討を進めているのは今宿・新町、小菅地区。今年の除雪機械は単独予算で整備したようだが、毎年購入、更新していく計画は大丈夫か。

町長 振興実施計画のとおり、毎年1台更新していくが、高価なものなので修繕しながら使っていく。突発的な故障等には臨機応変に対応していく。

一昨年少年齢者等除雪費助成金を利用された方は14件、この方々が雪下ろし1回、間口除雪シーズン20回利用すると、770万円あれば可能。NPO法人と道路維持組合以外の除雪可能業者等と協力すれば、現補助金に400万円追加すれば可能になる。

町長 現在は3台しかないのだから、今後対応していく。

返済計画等町民に説明を

多額な借金で今後の事業計画にも影響があるはず、町民にしっかりと説明すべきと思うが。

町長 借金は増加するが、以前も15年で30億ほど減らしたように返済はしていく。今後も振興実施計画に沿って、健全財政を維持しながら事業の具現化をしていく。

今後の流雪溝計画

町長 必要性はかねてから感じる。職員配置や担当事務のバランスを考えていく。

町長 建築士等技術職の採用は、町長 必要性はかねてから感じる。職員配置や担当事務のバランスを考えていく。



全町に流雪溝整備を(鷹巣流雪溝流末施設)



大活躍の小型ロータリー

財政計画と流雪溝計画を示せ

大山 二郎 議員

借金返済、未整備地区も着実に進める
町長

